

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年5月10日(2007.5.10)

【公表番号】特表2007-504516(P2007-504516A)

【公表日】平成19年3月1日(2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-008

【出願番号】特願2006-532332(P2006-532332)

【国際特許分類】

G 02 B 5/30 (2006.01)

G 02 B 27/28 (2006.01)

G 02 B 27/18 (2006.01)

G 03 B 21/00 (2006.01)

【F I】

G 02 B 5/30

G 02 B 27/28 Z

G 02 B 27/18 Z

G 03 B 21/00 E

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の層を含み、それらの複数の層が第1の光学的厚さ分布を有しかつ複数の複屈折性材料の層を含む第1の多層反射偏光フィルムと；

該第1の多層反射偏光フィルムに近接する第2の多層反射偏光フィルムであって、該第2の多層反射偏光フィルムは、第2の光学的厚さ分布を有する複数の層を含み、該第2の分布は、該第1の分布とは異なり、さらに該第2の多層反射偏光フィルムの主面は、該第1の多層反射偏光フィルムの主面に対向する、第2の多層反射偏光フィルムと；

該第1および該第2の多層反射偏光フィルムのそれぞれの片面側に配設されたカバーと；

を含む、偏光ビームスプリッター。

【請求項2】

複数の複屈折性材料の層を含む第1の多層反射偏光フィルムと；

該第1の多層反射偏光フィルムに近接する第2の多層反射偏光フィルムであって、該第2の多層反射偏光フィルムの主面は、該第1の多層反射偏光フィルムの主面に対向する、第2の多層反射偏光フィルムと；

前記第1の多層反射偏光フィルムと前記第2の多層反射偏光フィルムとの間の光学用接着剤と；

該第1および該第2の多層反射偏光フィルムのそれぞれの片面側に配設されたカバーと；

を含む、偏光ビームスプリッター。

【請求項3】

光を発生する光源と；

該光源からの光を調整する調整光学素子と；

該調整光学素子からの調整された光に画像を重ねて画像光を形成するイメージングコアであって、該イメージングコアは、少なくとも1つの偏光ビームスプリッターと少なくとも1つのイメージヤーとを含み、かつ該偏光ビームスプリッターは、

複数の複屈折性材料の層を含む第1の多層反射偏光フィルムと、

該第1の多層反射偏光フィルムに近接する第2の多層反射偏光フィルムであって、該第2の多層反射偏光フィルムの主面は、該第1の多層反射偏光フィルムの主面に対向する第2の多層反射偏光フィルムと、

該第1および該第2の多層反射偏光フィルムの両側に配設されたカバーと、
を含むイメージングコアと；

該イメージングコアからの該画像光を投影する投影レンズシステムと；
を含む、投影システム。

【請求項4】

偏光ビームスプリッターを作製する方法であって、

複数の複屈折性材料の層を含む第1の多層反射偏光フィルムを形成する工程と；

第2の多層反射偏光フィルムを形成する工程と；

該第1の多層反射偏光フィルムの主面に対向して該第2の多層反射偏光フィルムの主面を配置する工程と；

該第1および該第2の多層反射偏光フィルムを2つのカバーの間に配置する工程と；
を含む方法。